

静かなるブーム「今昔かるた」の波及効果

昨年8月に「高原・金浦今昔かるた」を作成して以来約8ヶ月が経ちました。「かるた」の目的は、高原・金浦の知名度を高め、自然・野菜・果物・歴史遺産の宝庫である高原の魅力発信に資することでした。拙い手作りの「かるた」でありましたが、郷土誌「金浦の歩み」でお世話になった多くの方々、県立や市立図書館・行政機関・事業所・小中学校・放光院護持会・古文書の会等々に合わせて約100セットの進呈をさせて戴きました。

また、新聞社や市広報課・学校厚生会にも取材を依頼したり、金浦のホームページを通じてPRに務めてきました。これらの結果、購入希望者も結構あって、現在では100セット以上（1セット500円）の売上があります。

280セット作成しましたが、残りわずかとなっています。

4月18日（日）、金浦区老人会（現在は宝クラブと改名）の会員による、お大師さん前に行く恒例の「放光院清掃作業」を実施しました。作業を始める少し前に、歩こう会の団体が、「88ヶ所石仏巡りをする前に、放光院の三仏にお参りしたい、併せて周辺史跡の説明をしてほしい」との依頼がありました。豊岡方面の団体で、毎月但



高原の魅力が大いにPRできました

馬内の2ヶ所を選んで歩いておられるとのこと。会員100人以上の組織でこの日は約40人程度が参加されていました。老人会世話役のほうで、ガイドマップを配布して15分程度の説明を行いました。

「かるた」をPRしたところ2セットの購入がありました。わざわざ堂内三仏の拝観までされたと言うことは、事前学習されていたに違いなく、この地を選定された理由等について詳しく聞けなかったことが心残りでした。目下、この「歩こう会」の所在を探索中です。



神戸市在住の男性に 高原の魅力を語る

3月27日に公民館で区役員が1時間程度、「金浦の歩み」を基に史跡の説明や区の活性化等について説明しました。金浦にゆかりのあるシニア世代の方で、金浦のHPを見て連絡してこられました。郷土誌と「かるた」を購入して戴きました。



三仏（弘法大師像・観音立像・不動尊像）

JAの月刊誌「リレーション」4月号に、「会員の作品を載せた女性会オリジナルカレンダー完成」（豊岡ブロック）の記事がありました。社会で活躍する女性を想起し、連絡しましたが在庫はないとの返事。コピーでもとお願いしたら、カラーでコピーして送って戴きました。感激でした。「今昔かるた」で次の句を詠んでいます。

「次の世代の村づくりに
三つのキーワード

参画と協働 女性の感性」

お礼に手紙を添えて「かるた」を送らせて戴きました。

